



げんげんどう

特集 消化器内視鏡治療 内視鏡看護

2026.1 No. 105

- ① 表紙：玄々堂君津病院 感染制御委員会
- ② 院長挨拶
- ③ 糖尿病教室 病院研究発表会 千葉県透析研究会
- ④ 特集 消化器内視鏡治療
- ⑤ 特集 内視鏡看護
- ⑥ 部署紹介
- ⑦ 新任医師紹介 看護部長就任挨拶 安全確認
- ⑧ 感染対策コラム



玄々堂君津病院 感染制御委員会では、安全で質の高い医療を提供するために、院内での感染症の発生や拡大を防ぐ取り組みを行っています。患者さん、ご家族、そして職員の皆さんを感染症から守るため、感染対策の徹底、教育・啓発活動、感染症発生時の迅速かつ適切な対応など、多角的な視点から感染制御を推進しています。私たちは、誰もが安心して過ごせる病院環境づくりに貢献していきます。

新年のご挨拶

新年あけまして
おめでとうございます。

医療法人社団新都市医療研究会「君津」会 理事長

玄々堂君津病院 院長 池田 重雄



院長挨拶

02 げんげんどう

玄々堂君津病院医局では、昨年3人の新しい先生を迎えることができました。

整形外科では昭和大学整形外科教室より田代皓一郎先生を招聘することができました。平野先生の後任として整形外科チームに加わって頂きました。田代先生は整形外科の専門も助崎部長と同じ股関節、膝関節です。このために当院の整形外科の手術診療がさらに安定して、皆さまに提供できると期待しております。

糖尿病・内分泌科では荻野副院長のチームに新たに鈴木雄朗先生に加わっていただくことができました。鈴木先生は千葉県の御出身であり、昨年より千葉県に戻られて地元での診療に従事し、活躍いただいています。この地域には糖尿病・内分泌科の専門医が不足していましたので、当院の糖尿病診療のさらなる充実を期待しています。

3人目は市場洋先生です。市場先生は以前に当院での勤務歴のある先生です。東京女子医科大学の派遣医師として20年以上前に勤務されていました。この度、縁あって当院に戻ってきてくださいました。医療人としての後半をこの地域でこの思いがあるようです。若い時と変わらずエネルギッシュな先生で、外来や消化器内視鏡、健康診断など幅広く活躍して

いただいています。

新しく加わった医師メンバーにより、今年にはさらに充実しました診療を地域の皆さまに提供できるように、職員一同努力して参りたいと考えております。

今年のもう一つ大きな変化は、当医療法人の社会医療法人への認定であります。玄々堂君津病院は、今までは特定医療法人でしたが、2026年4月からは社会医療法人として千葉県より認定される予定です。社会医療法人とは、主に公的医療機関が担ってきた公益性の高い医療活動を担う医療法人として認定、運用されています。当院も数年前から取得を目指してきました。このたび晴れて承認を受け、社会医療法人として生まれ変わる予定であります。当院が今まで地域で行ってきた医療が認められたという意義も含めて、大変嬉しく思っております。

法人格はかわりましても当院の目指す医療、介護目標は変わりません。君津市、木更津市、富津市、袖ヶ浦市地域の皆さまへ良質な医療、介護サービスを提供できますように、職員一同努力して参ります。

本年もこれまでと変わらないご支援を賜りますように、どうかよろしくお願い申し上げます。

第103回 糖尿病教室

糖尿病・内分泌科 鈴木 雄一朗医師

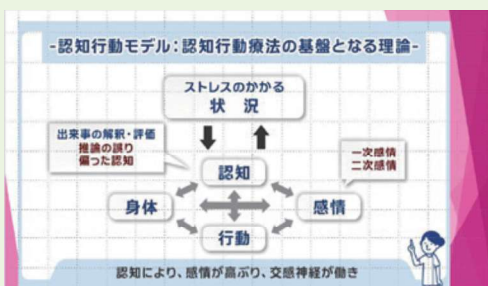
9月27日(土) 新館大会議室におきまして、糖尿病教室を開催させていただきました。コロナ禍の影響もあり、当院では約6年ぶりの開催となりました。

糖尿病治療の目標としましては、糖尿病学会より「糖尿病に特徴的な合併症、および糖尿病に起こりうる併発症の発症増悪を防ぎ、糖尿病がない人と変わらない生活の質と寿命を実現することである。」と提唱されております。そのため、今回は合併症に重点を置いてお話をさせていただきました。次回以降は、さらに詳しい内容についてお話させていただきます。今後につきましては、年々2回程度のペースで開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。



第26回 病院研究発表会 院長賞受賞

看護師 藤本 夏美



にし、「自分のせい」と思い込む認知の改善を目的に、認知行動理論モデルを用いた学習会を実施しました。

感情の整理や対処法の理解が進み、実践にもつながりました。看護師が安心して働ける環境は、患者さんにとってもより良い看護につながると信じています。今後誰もが安心して働ける環境づくりに向け、本研究を活かし、支援体制の整備を組織に働きかけていきたいと考えています。



第52回 千葉県透析研究会

看護師 沢里 直哉

この度、千葉県透析研究会に参加し、「当院における看護師のバスキュラーアクセス管理」について発表しました。大変貴重な学びを得ることができ、日々の業務で培った知識を深める良い機会となりました。

また、当院の他スタッフの発表に触れ、改めて強い感銘を受けました。特に印象に残ったのは、多職種による発表の多様性です。医師や看護師だけでなく、クラークによる多角的な視点からの研究発表は、当院の透析医療がチーム全体で成り立っていることを改めて実感しました。

他施設の発表からも、最先端の知見や工夫された介入事例を学ぶことができ、当院でも活かせるのではないかと強い刺激を受けました。

看護師4年目という節目で、他者の研究への熱意に触れ、自分の看護を振り返るきっかけになりました。今回の学びを明日からの臨床に活かし、より質の高いケアを提供できるように探究心を持って日々の業務に取り組みたいです。



を持って日々の業務に取り組みたいです。

特集 消化器内視鏡治療

消化器内科 西尾 恵 医師

こんにちは。消化器内科の西尾です。消化器内科は食道、胃、十二指腸、小腸、大腸といった消化管のほか、肝臓、胆嚢、膵臓といった腹部の臓器を担当する科です。様々な疾患を診療しますが、今回はなかでも大腸ポリープとその治療についてご説明します。

大腸ポリープとは

大腸の粘膜が、いぼ状に盛り上がった病変のことです。多くの場合は無症状ですが、大きくなると血便や腹痛、便秘などの症状が出る場合があります。小さいポリープの場合は、ほぼ無症状なのですが、検診を受けていただくことが、ポリープの早期発見につながります。

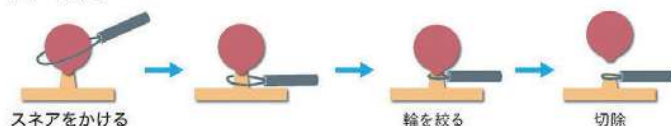
大腸ポリープの内視鏡治療について

内視鏡によりポリープを治療する方法にはいくつか種類があります。代表的なものとしては、「ポリペクトミー」「内視鏡的粘膜切

除術(EMR)」「内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)」などがあります。これらは病変の大きさや形に応じて使い分けられます。

代表的な内視鏡治療法

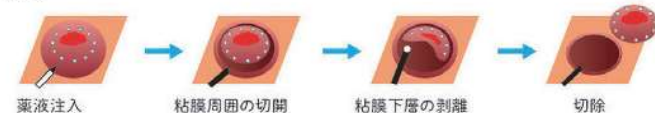
ポリペクトミー



EMR



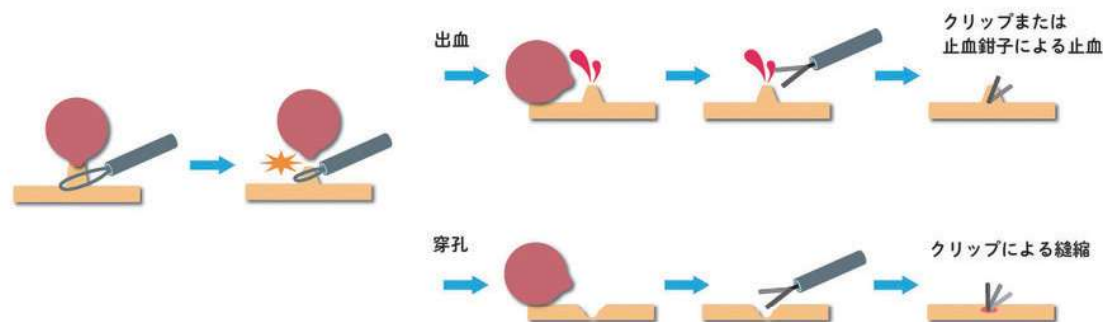
ESD



ポリペクトミー	ポリープの茎にスネアという金属性の輪をかけて、高周波電流を流して切り取ります。茎のある形のポリープに用いられます。
EMR	粘膜の下に薬液を注入し、病変を持ち上げ、スネアをかけて高周波電流を流して切り取ります。茎のない平坦な形の病変に用いられます。
ESD	粘膜の下に薬液を注入し、専用の電気メスで病変の周囲の粘膜を切開し、病変を少しずつ剥離して切除します。大きな病変や、薬液で病変が持ち上がらないときに用いられます。



●内視鏡的ポリープ切除に伴う偶発症と対処法



ポリープ切除にもリスクはあります



参考・引用 患者さんご家族のための大腸ポリープガイド 2023 2023年10月30日発行
編集 一般財団法人 日本消化器病学会

内視鏡治療で ポリープを切除した場合

顕微鏡で検査を行い、その結果と切除したポリープの数や大きさなどに基づいて、その後の方針や次回検査時期を検討します。

また、大変まれですが内視鏡治療の際に深く切除されることで大腸に穴があいてしまう場合（穿孔）や、切除した部分から出血する場合もあります。多くは治療の際に発生しますが、出血は治療後数日たってから起こることもあります。いずれもほとんどの場合は内視鏡による処置で予防や治療が可能です。ただし、穿孔は手術が必要となる場合もあります。

内視鏡治療が必要なポリープかどうかは内視鏡医もしくは消化器内科医が判断いたします。大腸内視鏡検査でポリープがあるとわかった方、またポリープができていないか心配な方はぜひ消化器内科までご相談ください。



特集

内視鏡看護

看護師主任 細川 秀子

当院では年間に約4,000件の内視鏡検査を行っています。2024年度の件数は、上部内視鏡検査2,999件、下部内視鏡検査1,493件です。

上部内視鏡検査では食道・胃、胃・十二指腸の一部を、下部内視鏡検査では大腸と小腸のつなぎ目までを観察します。主に腹痛や貧血などの原因精査や、健康診断で精密検査が必要となった場合に検査が行われています。また、ポリープ切除や止血術、異物除去などの治療も行っています。

初めて内視鏡検査を受ける際は特に不安が強いと思いますが、私たちが検査当日までの流れや注意事項、休止薬（医師からの指示を受けた場合）についても用紙を用いてしっかりと説明いたします。



検査当日は看護師が体調の確認をさせていただき、検査中のポイントや検査後の注意事項を丁寧に伝えしますのでご安心ください。

また、検査中の不安を和らげるラックスを受けていただけるように、鎮静薬や鎮痛薬を使用した検査も行っており、患者さんから「使用して楽だった」との声も聞かれます。車の運転などの制限がありますので、検査の予約時にご希望を伺いながら選択できるようにしています。

内視鏡検査についてわからない事は遠慮なく看護師へお声がけください。私たち内視鏡チームは医師と協力体制のもと「安全・安心・スムーズ」に検査が行えるよう看護を提供しています。

渉外部長

玄々堂君津病院
渉外部長 高橋 正一
玄々堂木更津クリニック
渉外部長 渡邊 勉



透析送迎バスを安全に誘導する渡邊渉外部長

渉外部長はこれまで玄々堂君津病院に配置されていましたが、本年より新たに玄々堂木更津クリニックにも配置されることとなりました。

「渉外」と聞くと、少し堅い印象を持たれるかもしれませんが、一般的には、外部の組織

や関係者との連絡や調整、交渉などを行う役割を担っています。私たちは病院に勤務していますが、医療従事者ではありませんので、医療行為を行うことはできません。しかし、その分、自分たちにできる役割にしっかりと向き合うことで、医療現場で働く職員の皆さんを支え、また患者さんを別の角度から支援することができると考えています。

では、当院における渉外部長の仕事とは、どのようなものなのでしょうか。「弱きを助け、強きをくじく」と言えば格好いいのですが、実際の業務は、もっと地道で細かなことの積み重ねです。具体的には、病院職員として守秘義務を厳守しながら、院内巡回を行い、トラブルや違法行為を未然に防ぐことで、患者さんが安心して過ごせる環境づくりに努めています。また、患者さん送迎に関わる車両や運転士への交通安全の声かけ、気持ちよく診療を受けていただくための施設内の緑地管理、初めて来院される患者さんの窓口へのご案内、さらには院内に入り込んでしまった虫の駆除まで、業務内容は多岐にわたります。患者さんは、病院に来るだけでも不安な気持ちを抱えていらつしやいます。だからこそ、少しでもその不安を和らげられるよ

う、「院内にいたるだけで安心できる」と感じていただける空間づくりを心がけています。診察を待つ時間、診察中、そして診察後まで、そのすべての時間が穏やかであるように——小さなことの積み重ねですが、どれも大切な役割だと考えています。

私たち両渉外部長は、日頃から情報交換や連絡調整を行い、連携を深めながら業務に取り組んでいます。患者さんとのコミュニケーションを大切にしつつ、日々変化する状況にも柔軟に対応できるよう努めてまいります。見た目はともかく、決して怖い存在ではありません。院内で見かけた際には、どうぞお気軽にお声がけください。



外来患者さんの安全を見守る高橋渉外部長

新任医師紹介

消化器・健診部長
市場 洋（いちば ひろし）医師



■略歴

鹿児島ラ・サール高等学校卒業
広島大学医学部卒業

■資格

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
日本外科学会外科専門医
日本ヘリコバクター学会 H.pylori（ピロリ菌）感染症認定医

■当院で診療することになった経緯

私は平成5年から平成6年と平成11年から平成14年までの約5年間、玄々堂君津病院でお世話になりました。この病院に育てていただいたからこそ現在の医師としての自分があり、ここを第二の故郷だと思っています。その後大学病院や一般病院で消化器科医師として内視鏡検査を中心に従事し、東京都内で開業医をしていましたが、色々なことが重なり、今後の自分の人生を考え、もう一度この地で地域医療に貢献したいと思うようになりました。

■当院に来て感じたこと

以前は常勤医が8人程度で、野戦病院のような忙しさでした。自分の診なければならぬ疾患の範囲も広く、非常に大変でしたが多くのことを経験させていただき大変勉強になりました。現在は各科専門医の先生方が非常に充実していて、以前とはずいぶん変わりました。ただ、職員の方々は誰に対しても非常に優しく、職種間の強い連携も昔のままで、この点は以前と変わらないと感服しています。

■患者さんに向けてひとこと

専門は消化器科で主に胃カメラや大腸カメラで疾患の診断、治療を行っています。腹痛や貧血などで困りの方はご相談ください。また、当院着任後より健康診断、人間ドックも担当しておりますので、健診で異常を指摘された場合はお気軽にご相談ください。できるだけ丁寧な説明を心がけています。よろしくお願いいたします。

看護部長就任挨拶

看護部長 鳥飼 紀子



2025年11月に看護部長に就任いたしました鳥飼紀子です。

当院は長年、「一人ひとりの患者さんを大切に、良質で安心なぬくもりのある医療を提供いたします」という理念のもと、地域の皆さまの健康を支える役割を担ってまいりました。

医療の高度化と高齢化が進む現代において、看護師には専門的な知識・技術だけでなく、患者さまと医療チームを円滑につなぐ

コミュニケーション能力が求められています。

看護部は「安全で、安心と納得のできる看護」を理念に、患者さまとご家族の思いを丁寧に受け止め、その人らしい生活を支えられるよう一緒に考える関りを大切にしています。

これからも地域に根ざした病院として信頼していただけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「安全確認にご協力を
お願いいたします。」

安全対策委員会 看護師長 中尾 薫

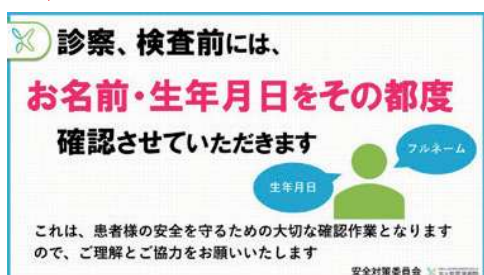
患者さんのお名前を確認することは、医療の基本です。

安全に医療を行うため、当院でも患者さんのお名前を確認しています。

病院内では、受付・検査・治療・処置・会計等、様々なスタッフと関わります。ここで言う「患者確認」とは、患者さんのお名前をフルネームで確認することです。

患者さんにフルネームを言うていただく必要があります。「〇〇さんですね」と聞かれ、「はい」と答えるのは、間違いの原因になります。

同姓同名の場合は、生年月日や住所をお聞きします。「何度も聞かれる」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、大切なことですのでご協力をお願いいたします。



感染対策

コラム

Vol.1

感染管理認定看護師
看護師長 永塚 藍



この度、感染対策コラムを担当させていただくことになりました。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

冬季は感染症が流行しやすい季節です。院内では、**サージカルマスク(不織布マスク)の着用**をお願いいたします。サージカルマスクは、咳やくしゃみによる小さな飛沫をしっかりと捕らえ、ウイルスの拡散を防ぎます。非常に細かい粒子や細菌、ウイルスを約98%以上カットできる高性能なマスクですので、安心してご使用いただけます。

また、公共の場での着用により、感染リスクを下げる効果が科学的にも示されています。**鼻と口をしっかりと覆い、顔にフィットさせて、正しく着用**しましょう。

皆さまのご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。



鼻までしっかり!

頭の体操・脳活コーナー

見本に二つの図形が描かれています。これを重ねて現れる図形を下のA～Eから選んで下さい。

見本



A



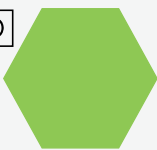
B



C



D



E



※正解は下にあります。

保育所クリスマス

保育士 今関知子

12月25日、げんげんどうかがやき保育所でクリスマス会を行いました。お兄さんお姉さんを中心に、みんなと一緒に「プレゼント運びリレー」や「クリスマスブーツ玉入れ」のゲームを楽しみました。クリスマススペシャルスケッチブックシアターを見ていると……どこからか鈴の音が聞こえてきます。振り返ってみると、なんとサンタさんが遊びに来てくれました。サンタさんの登場にびっくりしながらも「わあ! サンタさんだ」「サンタさん」と、とびつきの笑顔を見



せてくれた子ども達。サンタさんからプレゼントをもらうと「ありがと」と嬉しそうに受け取る子、サンタさんを目の前に少し恥ずかしそうにしている子、「サンタさんどこから来たの?」とワクワクが止まらない子、それぞれ素敵な表情をたくさん見せてくれました。サンタさんのおかげで、とっても楽しくて嬉しい一日となったようです。サンタさん、ありがと。また来てね!!

玄々堂君津病院 お問い合わせ番号 月曜日～土曜日(祝日は除く)

玄々堂君津病院
0439-52-2366
代表

外来診療予約
0439-52-7068
診療予約・予約変更
9:00～16:00

地域連携室
0439-52-2457
医療機関からの患者さんのご紹介
9:00～17:00

玄々堂木更津クリニック
0438-53-7807
代表



玄々堂グループ広報誌

げんげんどう

第105号 2026年1月23日発行

発行: 玄々堂君津病院
発行責任者: 院長 池田重雄
企画・編集: 新聞委員会

医療法人社団 新都市医療研究会「君津」会

玄々堂君津病院

〒299-1144 千葉県君津市東坂田4-7-20

電話 0439-52-2366(代表)

URL <http://www.gengendo.jp>

